

記入例4 給与から税額が引ききれない場合

給与支払報告に係る給与所得者異動届出書
特別徴収

				年度		1. 現年度 2. 新年度 3. 両年度				
宇都宮 市町村長殿 令和×年8月31日提出		〔特別徴収者〕 給与支払者	所在地	〒320-8540 栃木県宇都宮市旭1丁目1-5		特別徴収義務者 指定番号	23456			
			フリガナ	カブシキガイシャ マルバツショウジ		宛名番号	1			
			氏名又は名称	株式会社 ○×商事		担連 当絡 者先	所属	人事課人事労務係		
			個人番号 又は法人番号	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	一人番号の記載に当たっては、 左端を空欄とし右詰で記載	氏名	特徴 花子			
			電話	000-000-0000 内線 (123)						
給与 所得者	フリガナ	スズキ イチロウ		(ア) 特別徴収税額 (年税額)	(イ) 徴収済額	(ウ) 未徴収税額 (ア)-(イ)	異動 年月日	異動の事由	異動後の未徴収 税額の徴収方法	
	氏名	鈴木 一郎								
	生年月日	昭和・平成 50年1月1日								
	個人番号									
	受給者番号	123456		6月 から 8月 まで	9月 から 5月 まで	×年 8月 31日	5	1. 退職・長欠 2. 転職 3. 死亡 4. 支払少額・不定期 5. 合併・解散 6. その他 7. その他 事由・理由	3	1. 特別徴収継続 2. 一括徴収 3. 普通徴収 (本人納付)
	1月1日 現在の住所	栃木県宇都宮市本町12-11		140,000 円	35,600 円	104,400 円				
異動後の 住所										

1. 特別徴収継続の場合		新しい勤務先へは、月割額_____円を ____月分(翌月10日納入期限分)から 徴収し、納入するよう連絡済みです。	
新しい 徴収 勤務先	特別徴収義務者 指定番号	〒	
	所在地	〒	
	フリガナ		
氏名又は名称			受給者番号
		納入書の要否 (新規の場合のみ記載)	右から 番号を 記入 1. 必要 2. 不要

8月分まで特別徴収した給与所得者の徴収方法を、9月分から普通徴収に変更する場合。

(ア) 特別徴収税額(年税額) 140,000円(6月から翌年5月分)
 (イ) 徴収済額 35,600円(6月から8月分)
 (ウ) 未徴収税額 104,400円(9月から翌年5月分)

↑
普通徴収税額

2. 一括徴収の場合		左記の一括徴収した税額は、 ____月分(翌月10日納入期限分)で 納入します。	
理由	<input type="checkbox"/> 1. 異動が令和×年12月31日までで、一括徴収の申出があったため	徴収予定月日	徴収予定額 (上記(ウ)と同額)
	<input type="checkbox"/> 2. 異動が令和×年1月1日以降で、特別徴収の継続の申出がないため	月 日	円

3. 普通徴収の場合		※市町村 記入欄
理由	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 異動が令和×年12月31日までで、一括徴収の申出がないため <input type="checkbox"/> 2. 令和×年5月31日までに支払われるべき給与又は退職手当等の額が未徴収税額(ウ)以下であるため <input type="checkbox"/> 3. 死亡による退職であるため	

【提出先】 〒320-8540 栃木県宇都宮市旭1丁目1番5号 宇都宮市役所 理財部 市民税課